

具体的検討項目についての意見の整理

1 政策立案
<ul style="list-style-type: none"> ・重点的に議論をする。政策立案の方法等についても考えていく。 ・いろいろな角度から議論すべき。 ・最優先で議論する。 ・大事だと思う。 ・議会の仕事の内の重点的な課題であり、しっかりと検討していく必要がある。 ・避けては通れない、一番大きな課題である。
2 視察のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目とするのはどうかと思う。 ・検討項目とする必要はない。 ・再度とめなおしをする程度でよい。
3 政務活動費
<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目とするのはどうかと思う。 ・検討項目とする必要はない。 ・再度とめなおしをする程度でよい。
4 事実上の会議の見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目とするのはどうかと思う。 ・再度とめなおしをする程度でよい。
5 会派のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・重点的に議論する。いろいろな考え方も含めて整理する必要もある。 ・もう一度議論すべき。 ・大事だと思う。予算・決算審査のあり方、広報広聴委員会の設置について議論する中で、必ず触れることになる。
6 意見書に対する関係行政庁等への誠実処理の確認
<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目とするのはどうかと思う。 ・検討項目とする必要はない。 ・再度とめなおしをする程度でよい。

7 予算・決算審査のあり方の検討

- ・重点的に議論する。よりよい審議ができる方法を考えていく。
- ・引き続き議論するべき。
- ・近々の課題として早急に進めていく。
- ・最優先であるとする。
- ・議会の仕事の内の重点的な課題であり、しっかりと検討していく必要がある。
- ・優先課題として進める。

8 広報広聴委員会の設置

- ・重点的に議論する。議会報告会等、広報広聴をしながら政策立案に結び付けていく。
- ・市議会だより発行委員会との関係も含めて議論するべき。
- ・市議会だより発行委員会との整合性が必要。早急に議論したい。
- ・最優先であるとする。広報広聴の中で、ライブ中継についても議論できる。
- ・3月定例会後の議会報告会について、近々の課題として議論する必要がある。
- ・議会報告会を念頭におくなら、この項目の議論を優先する必要がある。
- ・議会報告会をどうしていくかも含め、最優先課題とする。

9 議長任期

- ・優先事項を議論した後、議論すればよい。
- ・ワンクッションおいて議論してはどうか。
- ・一度議論されているので、少し時間をおいてから議論すればよい。

10 議会の通年制

- ・優先事項を議論した後、議論すればよい。
- ・ワンクッションおいて議論してはどうか。
- ・一度議論されているので、少し時間をおいてから議論すればよい。